

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【公開番号】特開 2002-346390 (P2002-346390A)

【公開日】平成 14 年 12 月 3 日 (2002.12.3)

【出願番号】特願 2001-373977 (P2001-373977)

【国際特許分類第 7 版】

B 0 1 J 23/755

B 0 1 J 23/46

B 0 1 J 23/75

B 0 1 J 23/78

B 0 1 J 25/00

B 0 1 J 27/057

C 0 7 C 29/09

C 0 7 C 31/20

// C 0 7 B 61/00

【F I】

B 0 1 J 23/74 3 2 1 Z

B 0 1 J 23/46 3 0 1 Z

B 0 1 J 23/78 Z

B 0 1 J 25/00 Z

B 0 1 J 27/057 Z

C 0 7 C 29/09

C 0 7 C 31/20 Z

B 0 1 J 23/74 3 1 1 Z

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 8 日 (2004.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 7 2】

実施例 2 1：シリカ担持 R u 触媒の調製

ルテニウム元素を 3 . 9 6 9 重量 % 含有する硝酸ルテニウム水溶液 6 . 6 3 0 g をビーカーに計りとり水溶液 ( 4 ) とした。シリカ担体 ( C A R i A C T Q - 1 5 ) 1 0 . 0 0 g を水溶液 ( 4 ) を調製したビーカーに加え、水溶液 ( 4 ) の全量をシリカ担体に吸収した。

水溶液 ( 4 ) を吸収したシリカ担体を窒素気流下 1 0 0 で 1 時間乾燥した。その後、水素気流下 4 0 0 で 2 時間還元し金属ルテニウム担持触媒を得た。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 8 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 8 2】

実施例 2 5：シリカ担持 N i 触媒の調製

硝酸ニッケル 6 水和物 2 . 7 5 2 g をビーカーに計りとり、ここに脱イオン水 3 . 5 0 g を加えて溶解し水溶液 ( 5 ) を調製した。シリカ担体 ( C A R i A C T Q - 1 5 ) 5 . 0 0 g を水溶液 ( 5 ) を調製したビーカーに加え、水溶液 ( 5 ) の全量をシリカ担体に吸収した。

水溶液 ( 5 ) を吸収したシリカ担体を窒素気流下 1 0 0 で 1 時間乾燥した。その後、窒素気流下 4 0 0 で 2 時間還元し金属ニッケル担持触媒を得た。